



ハイブリッド給湯器導入チャンス!

高効率給湯器導入促進による
家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金

*カーボンニュートラル中間目標に向けたCO2排出量削減施策

■期間：2023年2月～2024年2月竣工分 ■予算額：300億円

※事業者登録必須／無くなり次第終了

| 対象 | ハイブリッド給湯機 |
|------|---|
| 商品例 | <p>ユコア HYBRID</p> |
| 支払条件 | 一般社団法人日本ガス石油機器工業会の規格（JGKAS A705）で、年間給湯効率が108%以上のものを対象とする。 |
| 補助金額 | 5万円／台 |

■電力会社の「燃料調整費上限の撤廃」

燃料調整費の高騰で、電力会社内で吸収していた燃料調整費の上限が撤廃され、電気料金に反映されてくれる。特にオール電化住宅に適用される「電化styleコール」の値上げも大きい。

月々の電気代 = 基本料金・最低料金 + 使用量料金 + ①再エネ賦課金（電気消費量 × 賦課金単価）

今後再エネ賦課金に加えてこれがベースアップされる ⇒ + ②燃料調整費（電気消費量 × 燃料調整単価）

つまり、電気の消費量が多ければ多いほど①と②の負担が実質増え、月々の電気代が高くなる！ということ。

【試算】オール電化住宅 月平均600kWの場合

【燃料費が0だった過去：オール電化住宅】

| | 単価 | 金額 |
|---------|-------|---------|
| ①再エネ賦課金 | 3.45円 | ¥24,840 |
| ②燃料調整費 | 0円 | ¥0 |

合計 ¥24,840



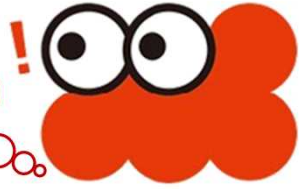
【燃料費が高騰している現在：オール電化住宅】

| | 単価 | 金額 |
|---------|-------|----------|
| ①再エネ賦課金 | 3.45円 | ¥24,840 |
| ②燃料調整費 | 14円 | ¥100,800 |

※燃料調整費14円/kWで試算 合計 ¥125,640

【国】2023年補助金 最大15万円

新築・
リフォームも
対象！



高効率給湯器導入チャンス！

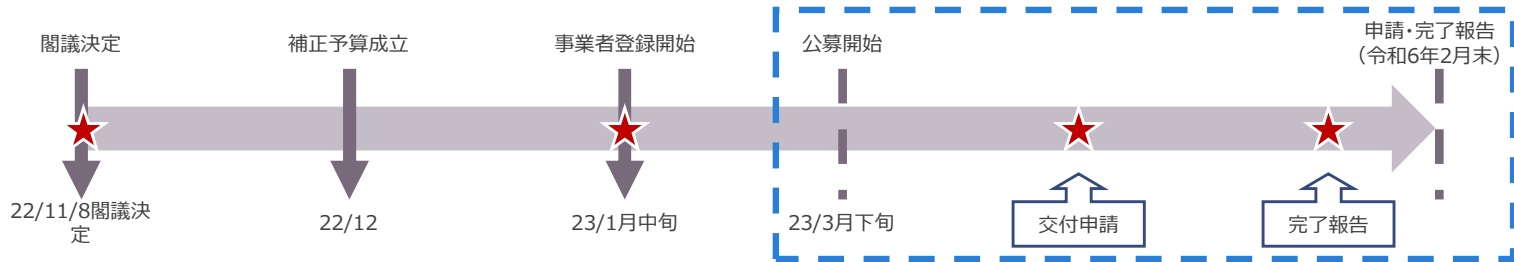
高効率給湯器導入促進による 家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金

*カーボンニュートラル中間目標に向けたCO2排出量削減施策

■期間：2023年2月～2024年2月竣工分 ■予算額：300億円

※事業者登録必須／無くなり次第終了

| 対象 | 家庭用燃料電池 | ハイブリッド給湯機 | ヒートポンプ給湯器 |
|------|--|---|--|
| 商品例 | | | |
| 支払条件 | 一般社団法人燃料電池普及促進協会（FCA）の製品登録に必要なされたものを対象とする。 | 一般社団法人日本ガス石油機器工業会の規格（JGKAS A705）で、年間給湯効率が108%以上のものを対象とする。 | 省エネ法上のトップランナー制度の対象機器であり、2025年度の目標基準値以上のもの（JIS3.5以上）を対象とする。 |
| 補助金額 | 15万円 ／台 | 5万円 ／台 | 5万円 ／台 |



予算300億＝5万円の補助金で60万台。エコキュートの1ヶ月の出荷台数が6万台と考えると、2023年の10～11月までは活用できる見込み。

実施期間：2023年2月～2024年2月

| | 新築住宅 | | | 既存住宅 | |
|----|------|-------|----|---------|----------|
| | 注文 | 分譲 | | 戸建リフォーム | |
| 戸建 | 戸建 | 共同住宅等 | 戸建 | 共同住宅等 | 大規模修繕 |
| 持家 | 施主 | 購入者 | | 家主 | |
| 賃貸 | 貸主 | | | 賃主又は借主 | |
| | | | | | 家主又は管理組合 |

※新築住宅は、完成（完了検査済証の発行日）から一年以内で、人の居住用に供されたことのない住宅をいいます。既存住宅は新築住宅以外の住宅をいいます。

詳細は確定次第HPをご確認ください。